

ペットボトルによる蜂の誘引捕殺方法

1 はじめに

平成9年度のペットボトルによる「蜂刺され災害防止に関する技術開発（調査研究）」においてはアシナガバチ類による捕獲数量が少ないことから、平成17年度はアシナガバチ類に効果のある①誘引液、②ペットボトルの侵入口の改良を行う。

2 試験の概要

- 1) 場所 去川国有林232ち3林小班
- 2) 時期 H17年5～7月
- 3) 方法

- ア 誘引液（3種類） ①焼酎＋ポカリスエット
②焼酎＋カルピス
③焼酎＋オレンジ100%（対照液）

- ※1：混合割合は50対50
- ※2：侵入口の数は2個以上
- ※3：設置個数は各3箇所
- ※4：設置高は地上1.2m（1～1.5mの範囲）
- ※5：誘引液は週に一度交換、誘引液の量は捕獲器の底から3cm程度

- イ 誘引口の大きさ（2種類） ①1cm×1cm
②3cm×3cm

- ※1：焼酎とオレンジの混合液、混合割合は50対50
- ※2：侵入口の数は2個以上
- ※3：設置個数は各2箇所
- ※4：設置高は地上1.2m（1～1.5mの範囲）
- ※5：誘引液は週に一度交換、誘引液の量は捕獲器の底から3cm程度

3 試験結果

1) 誘引液の違いによる蜂の捕獲数

①焼酎＋ポカリスエット	27匹	○アシナガバチ類	1匹
		○スズメバチ類	23匹
		○ドロバチ類	3匹
②焼酎＋カルピス	31匹	○アシナガバチ類	1匹
		○スズメバチ類	26匹
		○ドロバチ類	4匹
③焼酎＋オレンジ100%	53匹	○アシナガバチ類	－匹
		○スズメバチ類	52匹
		○ドロバチ類	1匹

2) 誘引口の大きさの違いによる蜂の捕獲数

①1cm×1cm	36匹	○アシナガバチ類	0匹
		○スズメバチ類	32匹
		○ドロバチ類	4匹
②3cm×3cm	13匹	○アシナガバチ類	0匹
		○スズメバチ類	12匹
		○ドロバチ類	1匹

3) 蜂の種類別内訳

区分	蜂の種類	捕獲数	備考
アシナガバチ類	①セグロアシナガバチ	2	
スズメバチ類	②ヒメスズメバチ	101	女王蜂66、働蜂35
	③コガタスズメバチ	32	女王蜂17、働蜂15
	④キロスズメバチ	6	女王蜂5、働蜂1
	⑤オオスズメバチ	4	女王蜂1、働蜂3
	⑥モンスズメバチ	1	女王蜂1、働蜂-
	⑦クロスズメバチ	1	女王蜂1、働蜂-
	計	145	女王蜂91、働蜂54
ドロバチ類	⑧ハグロフタオビドロバチ	8	
	⑨エントツドロバチ	3	
	⑩スズバチ	2	
	計	13	
合計		160	

4) 女王蜂と働き蜂の捕獲状況 (H9.4.22 ~ H9.7.29)

回収月	スズメバチ類		アシナガバチ類		ドロハ類	その他	計
	女王蜂	働蜂	女王蜂	働蜂			
5月上旬	56		32		1	4	93
5月中旬	94		25		30		149
5月下旬	69	9	25		37	2	142
6月上旬	109	23	29		12		173
6月中旬	74	18	8	3		1	104
6月下旬	118	63	3	14	2	1	201
7月上旬	50	11	2	13	1		77
7月中旬	13	13	5	4			35
7月下旬		28		2	1		31
計	583	165	129	36	84	8	1005

5) 考察

- ア アシナガバチ類の捕獲効果を検証することを目的としたが、結果としてスズメバチ類の捕獲となった。
- イ 誘引液の違いによる蜂の捕獲試験では、焼酎とオレンジの混合液が最も捕獲数が多い結果となった。
- ウ 侵入口の大きさの違いによる比較試験では、侵入口の小さい1 cmの方が捕獲数が多い結果となった。
- エ 女王蜂と働き蜂の捕獲状況は、5～6月は女王蜂の捕獲数が多く、5月下旬から働き蜂が捕獲されるようになった。